



- ① 平成4年の下水道一部供用開始に向けて処理場の建設、管渠の布設を進めています。
- ② 古くなった大和田生活館を新築します。
- ③ 給食センターを東雲町に建設します。
- ④ 海浜観光の拠点として黄金岬の整備を進めます。

**MMRワクチン接種は
医師や保健婦に相談を**

市では、平成2年4月1日より麻しんの定期の予防接種にあたっては、麻しんワクチン接種をすることを原則としますが、保護者から申し出があった場合に限り、MMRワクチン接種（麻しん、おたふくかぜ、風しんの混合ワクチン）をすることができます。

予防接種については、乳幼児健診などで詳しく説明していますが、接種は医師や保健婦によく相談したうえでうけるよう心がけてください。
(保健年金課保健予防係)

市税の納期表
(平成2年度)

道市民税	固定資産税	国民健康保険税
4		
5	①	
6	①	
7	②	①
8	②	②
9	③	③
10	③	④
11	④	⑤
12	④	⑥

上水道の整備については、第六期拡張事業の推進をはかり長期安定給水を確保することは勿論のこと、藤山地区、マサリベツ地区の未給水地区の解消をはかるため、配水管網の整備に努めます。

快適な都市生活を営むうえで重要な下水道の整備については、平成四年の供用開始に向けて、処理施設、管渠施設の整備に積極的に取り組んでまいります。

ごみ処理については、収集体制の改善をはかるとともに、現在の処理施設が飽和状態になりつつあることから、新たな処理施設の建設が必要なため実施計画の策定を本年度中にいう予定です。

**大和田生活館を
建設します**

保健医療と地域福祉の増進

健康は地域社会の活力を生み出す原動力であります。引き続き、各種検診体制の強化と健康相談、健康教育の機会を広めながら、健康都市をめざした施策を推進します。そのためには、市立総合病院の診療・看護体制の強化と医療機器などの整備を行い病気の予防からリハビリに至る一貫した地域医療の確保に努め、さらに留萌地域の基幹病院としての役割を果たすよう努力します。

高齢化社会への対応については、

**中国営口市と友好港湾
の締結をします**

教育・文化の推進と国際交流

すべての人びとが、生涯にわたって

て充実した生活を送ることが最大の願いであります。

教育委員会と緊密な連携を保ちながら、学校教育や社会教育の充実、スポーツの振興、さらには、地域に根ざした芸術文化の振興などの施策を推進します。

特に、格差のない教育を目指し、学校施設などの教育環境の整備に意を注いでおりますが、本年度は港北小学校増改築事業の調査設計に着手し、あわせて学校給食センターの建設をすすめてまいります。

国際交流の振興については、近年、地方都市の国際化が進み、産業、経済、文化などの幅広い分野での交流が活発化しています。本市としても、ウラン・ウデ市と昭和四十七年に姉妹都市の提携をし、親善訪問団の相互派遣など市民交流を進めています。

さらに、昨年九月、中国営口市の港務経済代表団が来留し、留萌港と

二十一世紀にわたる主要な課題でもあります。「生きがい」や「いたわり」「思いやり」など、福祉活動の充実のため、市民のみなさんとともに人生八十年時代の地域づくりに取り組めます。先に策定いたしました留萌市高齢化社会対策推進計画を基に、総合的な施策を講じるとともに在宅福祉サービスなどの一層の充実をはかります。

コミュニティ活動の推進については、住みよい快適なまちづくりは、市民の積極的な協力と参加があつてはじめてなし得るものであります。一方、郷土愛をはぐくみ市民の連帯意識の高揚をはかるためには、コミュニティ活動の促進が必要であります。そのため、活動拠点の施設として、本年度は三泊住民センター、大和田生活館の建設を行います。

また、町内会の負担軽減をはかるため、町内会運営交付金助成の一部として、昨年度に引き続き助成率の引き上げを実施します。

さらに、安全な市民生活確保のため、治水・防災・交通安全などの施策を講じ、災害や事故のないまちづくりを推進します。

◆ 以上が、新年度を迎えるに当たっての予算の大綱と施策の概要です。本市を取りまく行政環境は、依然として厳しい状況ですが、これらの施策を着実に具体化し、市政の主人公はあくまでも市民であるとの基本理念に徹し、誠実・公平・清潔な市政運営に心がけ、本市の発展と市民福祉の向上のため、全力を傾注していきます。

みなさんのご協力をお願いします。